

# 兵庫県防衛懇話会を開催



- ① 防衛懇話会を開催
- ② 各支部総会を開催
- ③ 退職自衛官の就職支援について
- ④ 兵庫地方協力本部だより

発行 兵庫県防衛協会 078-261-9780  
印刷 コベルコビジネスサポート ㈱



自衛隊の実施する災害救助活動  
～フィリピン災害救助活動～  
阪神基地隊司令 海将補 佐藤 壽紀 氏

兵庫県防衛協会は6月5日(金)、兵庫県自衛隊父兄会、兵庫県隊友会と共催し、自衛隊兵庫地方協力本部(本部長・下醉尾芳孝1陸佐)の支援を受け湊川神社楠公会館(神戸市中央区)において「第19回兵庫県防衛懇話会」を開催した。本年度は、記念講演に、海上自衛隊阪神基地隊司令の佐藤壽紀海将補を講師に迎えた。

佐藤司令は昭和57年防衛大学校を卒業後、主に艦艇勤務の道を歩まれ、平成26年12月に広島県呉市の第4護衛隊群司令の職を経験された後、大阪湾、紀伊水道等海域の警備を担当する海上自衛隊阪神基地隊司令としてご着任されている。

前職の第4護衛隊群司令として勤務された際に経験された、災害救助活動で演題に「自衛隊の実施する災害救助活動」を演題として講演された。

講演では実際活動したフィリピン災害救助活動について体験談をまじえた内容



懇親会で主催者代表挨拶を行う大橋会長

で、聴講者は、なかなか耳にする事ができない貴重なお話に熱心に耳を傾けた。

講演は、約250人が聴講し、広く防衛思想を伝えることができた。

記念講演に続く懇親会では、兵庫県選出の国会議員、兵庫県議及び神戸市会議員の議員をはじめ多くの来賓が参加し実施された。また、自衛隊からも第3師団長のほか兵庫隊下に所在する自衛隊の部隊長等の参加をいただき、終始盛大に行われ

た。当協会からも会員約60名が参加し懇親を深めた。主催者代表挨拶では大橋会長が「我が国を取り巻く環境は厳しさを増しており、国内では安全保障関連法案が国会で議論されており、その中、我々兵庫隊下の協力諸団体として相互に連携を深め、自衛隊に対するより一層の協力と防衛思想の普及に努めていかなければなりません。」と述べる等、参加者に協会活動の活発化への更なる協力を呼びかけた。

## 平成27年度 兵庫県防衛協会 定期総会開催

兵庫県防衛協会は6月5日(金)、湊川神社楠公会館において、平成27年度定期総会(第49回)を開催した。

定期総会に先立つ理事会では、平成27年度事業計画等の審議のほか、東播・尼崎各支部及び青年部会の報告を行なった。

その後、定期総会を開催し会員約70名が参加した。平成26年度事業報告及び収支決算報告、平成27年度事業計画及び予算案を審議するとともに、役員等人事について、常任理事、理事、事務局長の就任が承認され、各議案はすべて満場一致で可決された。その後、自衛隊からの感謝状全国防衛協会連合会長表彰等の受賞状況の紹介が行なわれた。最後に、宮内常任理事が退職自衛官の再就職に関する説明を「退職自衛官の就職支援についてのお願い」と題して説明し、自衛官の再就職受け入れへの理解と協力を求めた。



会員71名が参加し定期総会を開催

新しく就任した役員は次のとおり

- 【常任理事】川崎重工業㈱ 顧問 中林志郎氏
- 【理事】尼崎信用金庫 理事長 川上利之氏
- 一般社団法人神戸銀行協会 会長 武市 寿一氏
- 一般社団法人神戸青年会議所 理事長 吉森直紀氏
- 【事務局長】川重明石エンジニアリング㈱ 取締役 田中弘志氏
- 【東播支部長】ミツ精機㈱ 代表取締役社長 三津千久磨氏

# 平成27年度兵庫国防衛協会 各支部総会開催

## 【東播支部】

4月21日(火) 明石市内において定期総会を開催した。

平成27年度事業報告・収支報告及び平成27年度事業計画・予算案を審議し満場一致で承認された。役員人事については、支部長の交代については、支部長の交代については審議した。新支部長としてミツ精機㈱三津千久磨氏が承認された。

## 【青年部会】

4月23日(木)、神戸市内のホテル北野プラザ六甲荘において第7回定期総会を開催した。平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画を審議し満場一致で承認された。

議事終了後、青年部会からの要望で、援護業務について自衛隊兵庫地方協力本部援護課の担当者に説明をいただき自衛官の就職援護について勉強会を行った。その後、第3師団長・陸将 小林茂氏による講演を聴講した。講演は「我が国を取り巻く情勢と自衛隊」を演題に青年部会としての防衛についての知見を広げることができた。

## 【尼崎支部】

7月7日(火) 尼崎商工会議所内において定期総会を開催した。

平成26年度事業報告・収支報告及び平成27年度事業計画・予算案を審議し満場一致で承認された。役員も現役員の継続が承認された。総会后、第36普通科連隊長・1等陸佐 鹿子島洋氏による「陸上自衛隊の現状について」を演題に講演が行われ、陸上自衛隊の近未来の装備体系等について認識を図ることができた。



第36普通科連隊長の講話



師団長の講話で防衛の勉強会

## 【運営委員会開催】

議題についての審議中の様子



講演終了後の懇親会においては、はじめ、小島会長から日ごろの青年部会の活動の参加に対するお礼と、今後の活動の協力を呼びかけるとともに講演をいただいた小林師団長に対するお礼を述べた。また、来賓として、小林師団長と下醉尾本部長から祝辞をいただいた。

4月16日(木) 第49回定期総会の議題について審議する運営委員会を神戸合同防災庁舎において開催した。

平成26年度事業報告及び決算報告、平成27年度事業計画及び予算案、役員人事及び表彰関係について審議をした。役員人事では、常任理事の宮内省司氏と事務局長の中島照弘氏が総会時に交代となる。その交代として次期常任理事中林志郎氏と次期事務局長の田中弘志氏の両名も出席をお願いし、運営委員会出席者に紹介した。

## 【自衛隊の記念行事に参加】

平成27年度の4月から5月に行われた兵庫県内の各自衛隊各駐屯地及び基地記念行事についてそれぞれ招待をいただき参加した。

5月17日(日)の第3師団及び千僧駐屯地創立記念行事に東播支部長の三津千久磨氏、5月23日(土)の海上自衛隊阪神基地隊開隊記念行事及び5月24日(日)の青野原駐屯地創立記念には青年部会会長小島成介氏が参加して、行事の成功と部隊の発展を祈念してお祝いに駆けつけた。各行事ともに大勢の来賓等の方々が出席され、盛況に行われていた。



阪神基地隊開隊記念行事に小島青年部会長が参加

## 自衛隊阪神病院慰問

兵庫国防衛協会は、2月26日(木) 自衛隊阪神病院(院長・森崎善久陸将補)の激励を行った。本事業は昭和53年から始まり現在まで継続している事業で、今年は尼崎支部長の吉田啓方氏が病院を訪れ病院長への表敬と入院患者の激励を行った。

表敬時の懇談では、病院長をはじめ、総務部長、看護部長が同席し阪神病院に勤務している隊員や入院患者の現状など様々な話題について意見交換が行われた。

表敬後、広報担当者の案内で院内施設の説明を受けた。特に、新しく導入された医療機器MRIの説明を受け、機器のすばらしさに驚きで「すばらしい機器を拝見させていただきました。今後も隊員の為に頑張ってください。」と声をかけた。その後、病棟において吉田支部長により隊員の1日も早い回復を願って見舞品を手渡し、病院を後にした。



病棟に勤務する隊員に見舞品を手渡す吉田尼崎支部長

退職自衛官の就職支援についてのお願(抜粋)

兵庫県防衛協会 常任理事

自衛官はその任務の性格上、危険を顧みず日夜職務・訓練に従事し、国土の防衛ならびに保全に努めています。

一方、その精強性を保持する観点から階級に忠じた夫々若年定年制が取られております。一般企業に於いては65歳定年へと向かう中、自衛官の退職年齢は概ね53歳から56歳となっており。

また、若年層については任期制を取っており、2年から3年間の任期制であり定年制自衛官への道を歩む若者もいます。が任期満了により20歳代で退職する若者が大勢います。

定年制・任期制の何れの自衛官も、部隊における厳しい教育訓練等で身に付けた特殊技術を保持し精神的にも肉体的にも引き続きその精強さは変わりなく、一



平成27年度第1回阪神地区合同企業説明会で面談中の自衛官 参加人員261名 参加企業155社 (6/2 グランキューブ大阪)

お問合せ先
〒651-0073
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-4-3
神戸防災合同庁舎4階
自衛隊兵庫地方協力本部 援護課
TEL078-261-9779 / Fax078-261-9781
E-mail placel-hyogo@pco.mod.go.jp

一般社会では第一線級の能力・気力・体力を備え更に、誠実性・規律性が極めて高く忍耐強さを併せ持っております。ここにご紹介した通り、自衛官は働き盛りで退職するため、その後の生計を維持するため再就職が必要不可欠になります。このような観点から、退職後の就職支援を促進する事により現職自衛官の士気高揚はもとより、受入企業様には優れた人材の確保が可能である事は自明であります。これまでも退職自衛官で民間に再就職し、その就職先に於いては高い評価と信頼を得ております。防衛省としては、民間への再就職に際し必要な技能訓練や心構えに加え知識教育などに

も取組んでおります。再就職先を安定的に準備する事により自衛官が後顧の憂い無く職務に専念し、精強な部隊運営の一助となり、再就職をお引き受け頂いた企業様は、ひいては国家・社会の安全への大きな貢献を果たされる事となるわけです。
援護業務は、自衛隊内の援護部門と自衛隊援護協会が本務を担っておりますが、本防衛協会の会則にもその支援を行う旨が明示されております。
会員企業様の理解とご支援を賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。
尚、10月7日には任期制自衛官を対象に第2回阪神地区合同企業説明会を神戸で予定しておりますので、ご参加を宜しくお願ひ致します。

※日程は変更になる場合があります。日程・内容のお問合せは、それぞれの基地・駐屯地又は自衛隊兵庫地方協力本部渉外広報室 TEL078-261-9780までお問合せ下さい。

陸上
千僧駐屯地盆踊り 7月22日(水)
姫路駐屯地盆踊り 8月4日(火)
富士総合火力演習 8月23日(日)
中部方面隊記念日行事 9月13日(日)
福知山駐屯地記念日行事 10月3日(土)、4日(日)
姫路駐屯地記念日行事 10月18日(日)
八尾駐屯地記念行事 11月22日(日)
今津駐屯地記念行事 11月22日(日)

海上
阪神基地隊サマーフェスタ 7月18日(土)
神戸港艦艇一般公開(予定) 7月19日(日)
舞鶴地方隊サマーフェスタ 7月26日(日)
徳島航空祭 9月19日(土)予定
観艦式(公募) 10月18日(日)
航空
小松基地航空祭 9月21日(月)
岐阜基地航空祭 10月25日(日)
浜松基地航空祭 11月8日(日)

見学参加者 募集！
日本を守る炎の力 FIRE POWER 2015 in FUJI
平成27年度 富士総合火力演習
行動予定
1日目
08:20 集合
集合場所: JR三ノ宮駅周辺
移動: 大型バス(高速道路利用)
昼食: 車内にて弁当
17:00 ホテル着(河口湖周辺のホテルを予定)
夕食(懇親会を予定)
2日目
07:30 ホテル発
10:00~12:00 火力演習を見学
昼食: 御殿場周辺レストラン予定
移動: 大型バス(高速道路利用)
19:30 解散: JR三ノ宮駅周辺
お申込みは、7月31日(金)まで
● 時期: 平成27年8月21日(金)~22日(土)
● 場所: 静岡県御殿場市東富士演習場(畑岡地区)
● 参加費用 25,000円(1泊4食、懇親会、バス代、保険等を含む)を事前に、銀行振込にて徴収させていただきます。参加される方には、あらかじめ研修の詳細と振込み先を連絡させていただきます。
● 募集人数を40名と予定しております。先着順で参加の申し込みを受け付けます。希望される方は、まず電話で申し込み状況をご確認いただき、FAXにて下記までお申し込み下さい。

小松基地航空祭 2015
KOMATSU AIR BASE
Blue Impulse
お申込みは、9月2日(水)まで
受付は定員になり次第終了いたします。
行動予定
06:30 集合 集合場所: JR三ノ宮駅周辺
移動: 大型バス(高速道路利用)
11:00 小松基地着
航空祭見学
14:30 小松基地発
移動: 大型バス(高速道路利用)
19:30 解散: JR三ノ宮駅周辺
ブルーインパルス等の展示飛行が予定されています。
● 時期: 平成27年9月21日(月)
● 場所: 航空自衛隊小松基地(石川県小松市)
● 参加費用 3,000円(バス代、保険を含む)を当日徴収させていただきます。
● 募集人数を40名と予定しております。先着順で電話にて参加の申し込みを受け付けます。希望される方は、下記までお申し込み下さい。
● 参加される方には、研修の詳細が決まり次第、あらかじめ案内を送付させていただきます。

兵庫地方協力本部  
だより

### 就職補導教育

兵庫地方協力本部(本部長 下醉尾芳孝1陸佐)は、5月12日から5月19日までの間、平成27年度1回陸士就職補導教育を伊丹駐屯地及び姫路駐屯地で実施した。退職を検討する隊員等は、就職に必要な資質、準備すべき事項及び予備自衛官制度等多くの事項を学んだ。教育は就職準備の一環として企業研修も行っており、民間の労働環境を学ぶことができる。ともに採用条件等について直接企業担当者から聞けるもので教育の中でも人気が高い科目である。

今回の研修先の「新日鐵広畑製作所」は姫路市内に所在する製鉄所で、会社概要の説明を受けた後、広大な工場内の見学を行った。見学をした隊員からは質疑応答で活発な質問が飛び交っていた。



企業研修で説明を受ける隊員

兵庫地本では、任期制隊員等が退職日まで安心して任務に専念できるように本人の希望に沿った早期内定に向けて援護活動을 続けていくとしている。

### 採用試験

兵庫地方協力本部は、平成27年6月27日及び28日の2日間で千僧駐屯地と姫路駐屯地で自衛官候補生採用試験を行った。自衛官を目指す若者62名が自分の持っている知識を最大限に發揮し試験に挑んでいた。



合格を目指し取り組み受験者

### 体験航海

兵庫地方協力本部は、平成27年6月27日海上自衛隊舞鶴基地の支援を受けて体験航海を実施した。今回の航海は護衛艦「ふゆづき」によるもので募集対象者32名が乗艦した。艦内は狭い通路の中に各種機材や消火設備等が装備され、且つ無駄なく綺麗に整頓されている状態であり、日頃訓練に励む隊員の姿が目にも浮かぶような、いかにも「自衛艦」という印象を植え付けた。



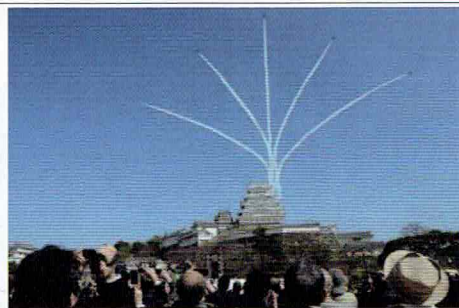
ふゆづきに乘艦し舞鶴基地を出航

体験航海は約2時間の短いクルージングであったが、乗船した高校生等は「海上自衛隊を良く理解することができてよかった。」

「もっと海上自衛隊のことを知りたい。」と語り、自衛隊への興味を持たせることができた。兵庫地本は、「今後も各種イベント等の機会を通じ募集広報を実施し、優秀な受験者の獲得につなげていく」としている。

### 姫路城で自衛隊を広報

兵庫地方協力本部は、3月26日(木)平成の大修理を終えた世界遺産・姫路城での完成記念式典行事を支援した。式典当日は、雲ひとつ無い晴天に恵まれ、生まれ変わった姫路城の白い姿が白鷺のごとく青空にくっきりと映えわたる様子だった。航空自衛隊第4航空団(松島基地)第11飛行隊(ブルーインパルス)は、式典のオープニングを飾り、姫路城上空を約10分間にわたって祝賀展示飛行を行った。



姫路城上空を通過するブルーインパルス6万人を魅了

### 南極の氷講座「しらせ」を広報

兵庫地本は、4月5日に神戸市立水の科学博物館で南極の氷講座を実施した。

南極の氷講座では、南極の氷を一目見たいという親子連れが多数訪れ立ち見が出るほどの盛況であった。広報班長(萩原1海尉)が「この氷は海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が昨年持ち帰ってきたもので、氷の中には数万年前の空気が含まれており溶ける際にプチッとほじける音がします。」などの説明にうなずくなど驚きの表情をされる方も見られた。その後、氷の体験コーナーでは、子供たちが氷を手にして冷たさに歓声をあげ、氷が溶けて空気がほじける音に熱心に耳を傾けた。



講座は100名の定員で満員

### ゆるキャララゲランプリ参戦

兵庫地方協力本部は、兵庫地本マスコットの「ひょうちゃん」を、2015ゆるキャララゲランプリに参戦させることを決定した。

今年の投票が「8月17日から11月16日」の間で行われる。

兵庫地本は昨年県内55体中第5位の結果であり大いに検討したが今年はさらに上位を目指すべく準備を進めている。ゆるキャララゲランプリ2015に参戦することにより自衛隊の広報と募集効果の更なる向上を期待するとしている。



「兵」を基調とし陸・海・空を色で自衛隊表している。

投票期間中は毎日1回投票できます。

ぜひ投票をお願いします。!!